

## 「生命（いのち）の安全教育」実践事例

活動名	1 学年「性の講演会」「いのちの授業」 1・2 学年「人権研修講座」 3 学年「デートDV 防止セミナー」		
学校名	神奈川県立大和南高等学校		
学年	1・2・3 学年	人数	900 人（各学年 300 人）
日時	○性の講演会 2023 年 11 月 6 日（月） 13：35 ～ 14：25 ○デートDV 2023 年 11 月 20 日（月） 13：35 ～ 14：25 ○人権研修講座 2023 年 12 月 15 日（金） 11：00 ～ 12：50 ○いのちの授業 2024 年 3 月 11 日（月） 9：00 ～ 10：50		
取扱いの分類	講演会		
講師	性の講演会：古賀 和子（大和市人権擁護委員） デートDV：原澤 千明（認定 NPO 法人エンパワメント） 人権研修講座：大谷 千晴（神奈川県立総合産業高等学校） シェイクフジハラ アイシャ（外国につながるのある若者） いのちの授業：大和南高等学校教諭		
学習のねらい	<p>【性】：近年、性の多様性について、社会的関心が高まっている。調査統計によると、クラス の 2 名前後がいずれかの性的マイノリティ（電通シティラボ 2018 年調査によると、国内人 口の 8.9%がいずれかの性的マイノリティ）であると推察される。そのような状況において、性 的マイノリティについて正しい知識をもち、性的少数者の人権問題を認識することは重要で ある。あわせて、外国での性的マイノリティへの対応（日本に比べ外国での寛容な認識等） や性の多様性についても理解を深め、生徒たちが世界に目を向ける一助とする。</p> <p>【デート DV】：若い恋人同士の間でもおこる「デートDV」について、10 代の内か ら問題を認識し、DV という社会問題を減少に導く。</p> <p>【人権】：外国につながるのある人に対する偏見や差別の現状を理解し、偏見や差別意識を 持つことなく、共に生きていこうとする態度を育てる。多文化共生に基づく人間関係を構築 するために広い視野に立って多文化を理解・尊重し、多文化共生のために自分の考えや 意志をもって具体的に行動できる生徒を育成する。</p> <p>【いのち】：人の命の尊さについて生徒達が考え、そこから自分のみならず他人の命をも大切 にすることの意義を考えさせる。また、東日本大震災から既に 13 年が経ち人々の記憶から も薄らぎつつあるが、今一度、命を守るために日頃から防災についての知識を深めておくこ の重要性を認識させる。</p>		

<p>内容</p>	<p>【性】：「性の多様性について考えよう」～あなたがあなたらしく生きるために～  人権の尊重をもとに性の多様性について考える。ビデオ視聴をいれながら、トランスジェンダー同性愛者の抱える困難を考える。最終的に誰もが幸せに暮らせる社会の実現を目指せるような講演会を実施。</p> <p>【デートDV】：①暴力と人権について ②自分の気持ちを考えてみる（グループワーク）  ③デートDVの定義、種類と特徴 ④もし被害にあったらできること</p> <p>【人権】：「ちがうって豊か」①2人の自己紹介 ②日本に住んでいる外国につながる人たち  ③なぜ日本に住んでいるの？ ④アイシャさんの場合 ⑤想像してみよう、こんな時どうする？ ⑥まとめ、質疑応答</p> <p>【いのちの授業】：東日本大震災時、中学生であった講師が実際に見たこと・感じたこと・体験したことを自身の言葉で語る。自分の意思とは関係なく命が突然に奪われるということがどのようなことであったか？多くの尊い命が奪われた未曾有の大震災を教訓として私達、日本人が学んだことは何であったか、それらについて生徒達に問いかけ考えさせる。</p>
<p>成果</p>	<p>【性】（生徒感想）：自分はLGBTQについてあまり良い考え方はしていないが、人との関わり方や人を尊重することについてはたくさん良いと思うことがあった。特に「どのような人にも優しくしよう」という考えは良いと思った。</p> <p>LGBTQの人たちが悩むことがなくなる世界が実現されると良いと思った。一人ひとりが自分の本当の気持ちを人前と言えるような世界が実現されると良い。</p> <p>【デートDV】：デートDVされたことがあったので役に立った。どのようなことがDVにつながるのかを知ることができた。自分が今後被害にあった時に気づけるのでよかった。友達にもそういう状況が起こるかもしれないから、学ぶことができて良かった。</p>
<p>課題</p>	<p>講演会を実施して終わりではなく、生徒たちが考え、判断し、行動に移せる力を身につけさせていくために様々な場面で継続的に指導していくことが大切である。</p>
<p>学校全体での取組や工夫</p>	<p>大和南高等学校では、上記の講演会を年間指導計画で各学年において計画し、毎年実施している。</p>